企業のAIルール策定へ

EU、年内にも

法整備に時間、規制急ぐ

●欧州連合（EU）が進めるAI規制

[illegible]	[illegible]
既存法の活用	デジタルサービス法に基づき、AIによる偽情報への対策を[illegible]
企業の自主規制	米グーグルなどと連携し、企業が自主的に守るルール「AI協定」を策定

[illegible]

つき早急な対応を求める。欧州委は5日、偽の動画や画像などの「ディープフェイク」について、AIで作成されたと明示するよう要請したと明らかにした。

AIを巡っては米国の政府高官も5月、十数大手に対し、AIの安全性や透明性を確保するよう迫った。議会でも公聴会で法整備の議論が進む。カナダの情報保護当局はオープンAIの個人情報の扱いなどを巡り、調査を進めている。

国連のアントニオ・グテレス事務総長は6月12日、AIを規制するため、国際原子力機関（IAEA）のような国際機関を創設すべきだとの意向を示した。

一方、日本ではAIの法規制に向けた動きは鈍い。政府の有識者会議は5月、生成AIについて機密情報漏えいや著作権侵害などの懸念を挙げ、対策の検討を促した。だが、政府は技術開発や活用を重視する姿勢が目立ち、現状は問題の論点整理にとどまっている。

米国務長官 訪中へ

就任後初 「意思疎通の手段維持」

ブリンケン米国務長官＝AP

【ワシントン＝蒔田一彦、北京＝吉永亜希子】米国務省は14日、ブリンケン国務長官が16～21日の日程で中国と英国を訪問すると発表した。中国外務省の発表によると、ブリンケン氏は18～19日に訪中するという。ブリンケン氏の訪中は国務長官就任後初めてとなる。当初は2月に訪中予定だったが、中国の偵察用気球の米領空侵入を受けて延期した。

米国務省の発表によると、ブリンケン氏は北京で中国の高官と会談し、「[illegible]

バイデン政権は中国との対話による「競争の管理」を模索しているが、台湾問題や半導体などの先端技術を巡る覇権争いで両国が歩み寄れる余地は少ない。ダニエル・クリテンブリンク国務次官補（東アジア・太平洋担当）は14日の電話記者会見で「米中関係の突破口や変革を意図して北京に行くわけではない」と述べた。

日韓通貨スワップ復活へ

日本と韓国の財政当局が、金融危機などで外貨が不足した際に融通し合う「通貨交換（スワップ）協定」を再締結する方向で検討に入ったことがわかった。29日に東京都内で開催する「日韓財務対話」で主要議題とする。日韓関係の冷え込みで2015年に失効したスワップ協定が復活すれば、関係改善に弾みがつきそうだ。

複数の政府関係者が明らかにした。日韓財務対話は日本と韓国の閣僚級が経済・金融分野の課題を話し合うもので、7年ぶりとなる。

スワップ協定は、アジア通貨危機の再発防止を目的として2001年に締結された。日韓ともに外貨準備を積み増しており、協定の必要性は乏しいものの、関係改善の象徴として再締結する方向で調整している。

財務対話では、足元の世界経済の動向や主要20か国・地域（G20）関連での連携強化についても話し合う予定だ。

岸田首相の一日　14日

【午前】8時39分、官邸。46分、秋葉国家安全保障局長、滝沢内閣情報官、市川外務省総合外交政策局長、防衛省の増田防衛政策局長、吉田統合幕僚長。9時6分、後藤経済再生相。30分、若宮健嗣自民党競争政策調査会長からスマートフォン関連市場の規制に関する提言書受け取り。54分、国会。10時1分、参院本会議。現金自動預け払い機を利用。11時8分、官邸。47分、木幡浩福島市長らからサクランボの贈呈。亀岡偉民同党衆院議員同席。

【午後】0時52分、東京・丸の内の東京国際フォーラム。全国市議会議長会定期総会。1時23分、官邸。55分、大前孝治全国信用金庫協会名誉会長。2時56分、東京都中野区の宝仙寺。青木幹雄元官房長官の弔問。3時20分、官邸。4時16分、宮沢洋一同党参院議員。6時24分、パラオのウィップス大統領と会談。7時14分、公邸。首相主催の夕食会。8時7分、大統領を見送り。

好評発売中